

■（75）消費税について

2014. 4. 18

今月から消費税が8%に増税されました。直前には消費税に関するニュースや特集番組が増え、中には増税前の駆け込み購入をあおるような内容も目につきました。報道によると、まず大型冷蔵庫やパソコン、家具など高額商品の需要が増え、次いで日用雑貨、3月末になると食料品が売れたといっています。消費税を増税するのは、高齢化社会で膨らむ年金や医療など社会保障のための財源を確保し、国の財政を建て直すためですが、このことを踏まえて、子どもたちにも消費税について考えたり調べたりさせるといいでしょう。たとえば、以下のような問いかけができるでしょう。

〔考えてみよう1〕

増税による利点は、安定した税収の確保による社会保障制度の安定や国家財政の健全化などですが、逆に問題点としてどんなことが考えられるでしょうか。（解答例——①低所得者層の負担が大きい②消費の落ち込みによる経済活動への悪影響、など）

〔考えてみよう2〕

消費増税の問題点を改善するための具体策を挙げよう。（解答例——①低所得者の負担軽減のため、公共交通機関の運賃や使用量の少ない家庭の電気・ガス料金などの消費税率を下げる、など）

〔調べてみよう1〕

消費税は1989（平成元）年に税率3%で施行され、1997（平成9）年には5%となりました。法律では2015年10月に10%に引き上げると定められています。日本の消費税と同じような税制のある国の、その税率を調べてみよう。

〔調べてみよう2〕

新聞広告やチラシなどで物の値段（売価）がどう表示されているか調べよう。4月5日の朝日新聞朝刊1面の記事下にある書籍広告では、「1600円（税別）」「定価1100円＋税」「1,512円（税込）」「定価：本体800円＋税」「定価：本体2,800円（税別）」などと表示してありました。

〔計算しよう〕

①上記の価格表示の書籍について、それぞれの消費税額を求めよう。

②ある理髪店のカット料金が税込みで1,000円から1,080円に改定されました。これは増税分を上回る値上げです。増税分だけの上乗せなら何円にするのが妥当でしょう。

（鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問）